

電子カルテ画像表示モニター FlexScan® MX-Series 4機種を新発売

1. 概要

株式会社ナナオ(本社:石川県白山市、代表取締役社長:実盛 祥隆)は、電子カルテや診断所見レポートに用いる医用画像データを DICOM Part 14 で表示できる電子カルテ画像表示モニター EIZO FlexScan® MX-Series(オープン価格※¹)4機種を2007年10月25日より順次発売します。

2. 背景

当社では、胸部X線などの医用画像を放射線部門に限らず臨床部門などでも DICOM※² に対応した階調表示で見たいという市場ニーズに対応するモデルとして、簡易 DICOM モードを搭載し、高性能な医用画像表示モニターと比較して価格がリーズナブルな電子カルテ画像表示モニター FlexScan® M-Series を2005年より販売しております。



その後、医療現場はフィルムレス普及期へ入るに伴い DICOM Part 14※² の認知度も高まり、最近では参照用モニターにおいても DICOM Part 14 に準拠した階調表示のニーズが高まっています。そこで当社では、DICOM Part 14 の階調表示に準拠し、かつ、キャリブレーションが可能な電子カルテ画像表示モニターを新たに発売します。

※¹:オープン価格の商品は標準価格を定めていません。

※²:DICOM(Digital Imaging and Communications in Medicine)は米国放射線学会(ACR)と北米電子機器工業会(NEMA)によって定められた、医用画像データを機種やメーカーの異なる医療画像機器との間で相互にやり取りするための国際ネットワーク規格です。その中の Part 14 にグレースケール画像の表示のための標準表示関数が明記してあります。

FlexScan® MX300W (76 cm (29.8) 型カラー液晶モニター) 発売時期:2007年12月25日

FlexScan® MX240W (61 cm (24.1) 型カラー液晶モニター) 発売時期:2007年11月15日

FlexScan® MX210 (54 cm (21.3) 型カラー液晶モニター) 発売時期:2007年10月25日

FlexScan® MX190 (48 cm (19) 型カラー液晶モニター) 発売時期:2008年1月15日

3. 主な特長

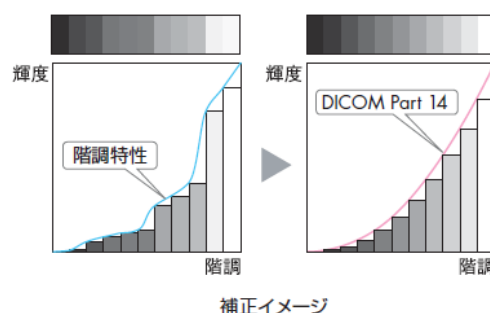
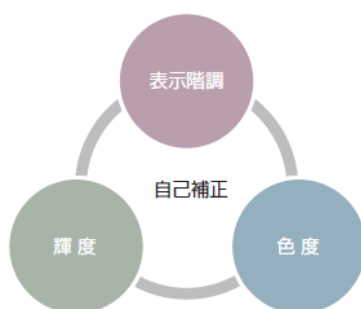
自己診断機能で輝度変化を検知した場合は自己補正機能で DICOM Part 14 に準拠した簡易キャリブレーションを実行する利便性と経済性を兼ね備えたハイコストパフォーマンスモデルです。ワイドモニターも含む多彩なラインアップの中から使用環境や用途に応じてお選びいただけます。

- ・ DICOM Part 14 に準拠したキャリブレーションを実現
- ・ 4メガピクセルの情報量を1台のモニターに表示
- ・ 作業領域を快適にするワイド画面
- ・ 縦長アプリケーションのフル表示
- ・ 輝度均一性を向上させる Digital Uniformity Equalizer (DUE) 機能
- ・ 最適な表示モードを瞬時に選べる CAL Switch 機能
- ・ 消費電力を削減し長期使用を可能にする Backlight Saver 機能
- ・ 長期間の使用をバックアップする安心と信頼の5年間保証
- ・ より精度の高いキャリブレーションを実行(オプション)
- ・ JESRA のモニター品質管理規格に対応可能(オプション)

4. 主な特長の詳細説明

DICOM Part 14 に準拠したキャリブレーションを実現

同梱のモニター品質管理ソフトウェア簡易版 RadiCS LE をインストールすることで、モニター内部のバックライトセンサーを活用した自己診断機能で輝度を定期的にチェックします。そして、輝度変化を検知した場合は、自己補正機能による DICOM Part 14 に準拠



した簡易キャリブレーションを実行し、表示階調、輝度、および色度の補正を実現します。

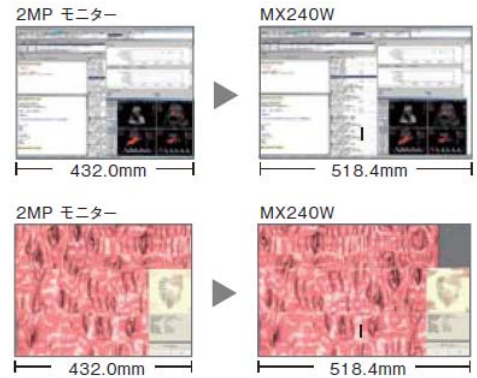
4メガピクセルの情報量を1台のモニターに表示 (MX300W)

ポートレート表示の2MPモニター2台分となる400万画素の情報量を1台のモニターに表示可能となり、作業効率、コストパフォーマンスが大幅に向上します。モニター2台使用と比較するとベゼルレスとなりモニター間の視線移動によるストレス軽減につながります。



作業領域を快適にするワイド画面 (MX300W、MX240W)

1600×1200のUXGA表示では電子カルテを表示すると医用画像の表示がカルテのテキスト部分に重なってしまう場合がありますが、ワイド画面表示なら重ならず快適な作業領域を保てます。またUXGA表示ではスクロールして観察する必要がある腸内画像もワイド画面表示ではスクロールなしで全表示できます。



縦長アプリケーションのフル表示

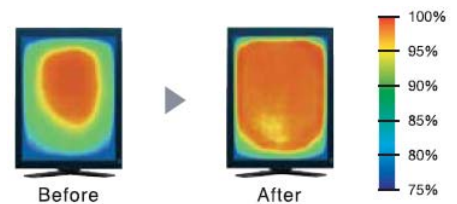
モニター部を縦方向に90°ローテーション可能。縦長のアプリケーションなどがフル表示でき、モニターの用途がさらに広がります。

・縦表示に対応したグラフィックスボードが必要です。



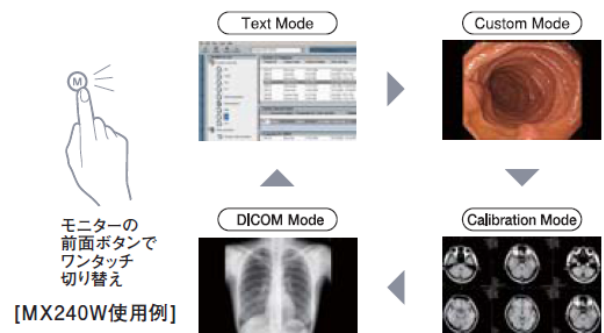
輝度均一性を向上させる Digital Uniformity Equalizer (DUE) 機能 (MX300W、MX240W)

EIZO 独自の技術を活かした DUE 機能の搭載により、液晶モニターの特性上これまで困難であった表示画面上の輝度を均一にし、安定した画像表示を実現しました。



最適な表示モードを瞬時に選べる CAL Switch 機能

単純X線画像や内視鏡など異なるモダリティの画像を同じモニターに表示させる場合、表示画像に適した輝度、階調、色度に予め調整・設定し毎回キャリブレーションすることなくワンタッチでの切り替えを可能にした CAL Switch 機能を搭載。さらにモード切り替えを自動化する Auto CAL Switch にも対応しています。



消費電力を削減し、経時劣化を予防する Backlight Saver 機能

スクリーンセーバーが起動するとモニターのバックライトがオフになり、スクリーンセーバーから復帰するとオンになる Backlight Saver 機能を搭載。時間が経つとともに輝度が劣化するバックライトの特性に対して、経時劣化の予防が可能になります。

・バックライトのオフ時間によっては、輝度安定までに多少の時間がかかります。



長期間の使用をバックアップする安心と信頼の 5 年間保証

ご購入から 5 年間長期にわたり安心してモニターをご使用いただけるため、長期的な視点に立ったコスト削減に貢献します。

5年間保証

5

・ただし、使用時間は 30,000 時間以内に限ります。また、LCD パネル及びバックライトは 3 年間保証になります。

より精度の高いキャリブレーションを実行(オプション)

モニター品質管理ソフトウェア簡易版 RadiCS LE と UX1 Sensor (オプション)を使用することで、DICOM Part 14 に準拠した、より精度の高いキャリブレーションを実行できます。



JESRA のモニター品質管理規格に対応可能(オプション)

モニター品質管理ツール RadiCS UX1 (オプション)を使用することで、JESRA のモニター品質管理規格に対応した受入試験、不変性試験を実行しモニターの画質を厳格にチェック。品質の変化を検知した場合は、DICOM Part 14 に準拠した高性能なキャリブレーションを実行できます。



第 5 回 EIZO メディカルセミナー2007 を開催します。

病院経営が厳しさを増す中でフィルムレス環境の導入を検討する場合、その経済性評価は重要な課題であると考え、今セミナーは施設での導入立案者及び責任者の方々にとり有益な場となるよう「画質とコストのバランス」に焦点を当てて開催します。

また会場では今回発表の新製品を展示し最新のモニター機器をご覧いただけるよう取り組みます。

- 会期: 2007 年 9 月 22 日(土) 10:30~17:00
- 会場: 東京 東銀座 時事通信ホール
- 対象: 病院経営者、病院情報システム管理者、診療放射線技師、読影担当医師、その他医療関係従事者の方 (定員: 100 名)
- お問い合わせ: 営業 1 部 メディカル課まで (TEL: 03-5715-2014)

本製品は医療機器ではありません。EIZO、FlexScan は株式会社ナナオの登録商標です。外観および仕様は改善のため予告なく変更することがあります。画面はハメコミ合成です。Copyright © 2007 株式会社ナナオ All rights reserved.

【 お客様からのお問い合わせ先 】

株式会社ナナオ 営業 1 部 メディカル課
TEL : 03-5715-2014(代) FAX : 03-3458-7001
ホームページ: <http://radiforce.com/jp/>

【 報道関係各位のお問い合わせ先 】

株式会社ナナオ マーケティング部 販売促進課
TEL : 076-277-6795 FAX : 076-277-6796 E-Mail : press@eizo.co.jp
ホームページ: <http://www.eizo.co.jp/press>